

来年早々にも迫りくる大飯原発再稼働を断固阻止しましょう!

原発は、事故の多さ、事故被害の深刻さ、使用済み燃料の処理や保管の困難さなど、あらゆる視点から、人類の手に負える装置ではありません。一方、福島事故以降の経験によって、原発は無くても何の支障もないことが実証されました。したがって、原発を運転する必要性は全く見出だせません。

そのため、最近のほとんどの世論調査でも、原発反対は賛成の2倍以上となっています。脱原発、反原発が国民多数の願いであり、民意であることを示しています。原発立地の若狭にも、脱原発、反原発の声は多数あります。

それでも関電は、原子力規制委員長までもが「安全を保証するものではない」と言う“新規制基準”に適合とされたことを拠り所にし、また、原発に「絶対的安全性を求めるべきではない」と主張して、去る5月、6月に、高浜原発4、3号機を再稼働させました。関電や原発産業の利益のために、人の命と尊厳をないがしろにするものです。

一方、関電や政府は、来年早々に大飯原発3、4号機の再稼働を企てるのみならず、40年超え老朽原発・高浜1、2号機、美浜3号機の再稼働も画策し、「原発銀座・若狭」の復活を狙っています。脱原発、反原発の民意を蹂躪しようとするものです。また、イタリア、ドイツ、リトアニア、ベトナム、台湾、スイス、韓国が脱原発に向かい、アメリカでも原発からの撤退が相次いでいるという、世界の潮流に逆らうものでもあります。

政府と関電は、若狭の原発を次々に再稼働させることによって、日本中の原発再稼働に弾みをつけ、原発依存時代の再来を狙っています。したがって、大飯原発再稼働阻止の闘いは、「全国の原発を廃炉に追い込むか、再稼働させるか」を問う天王山になります。

そのような観点に立って、「10、15大飯原発うごかすな！関電包囲全国集会」に引き続き、「12、3大飯原発うごかすな！現地全国集会」は企画されました。

これらの行動を突破口にして、電力会社や政府を震え上がらせるような大衆運動を高揚させ、「民意を無視したら大変なことになる」ことを彼らに思い知らせ、原発全廃を勝ち取りたいと考えます。皆様の大結集をお願いします。

大飯原発うごかすな！実行委員会

